

スマートシティの取組について

■背景と目的

- ICTやAIなどの先進的技術を活用しながら、減少・低下する生産年齢人口や労働力を補うとともに、利便性と魅力を高めることが必要。
- 民間活力を呼び込み、スマートシティの取組を民間事業者と連携して進めるには、本市の方針が必要。（＝スマートシティ構想）
- 近畿大学医学部及び病院の開設などを見据え、人口減少・高齢化が進む泉北ニュータウンについて策定。
⇒市域全域へと効果を波及、ニュータウン再生のモデルへ。

R 2年度

■スマートシティ実現に向けた調査研究

- ①スマートシティを着実かつ確実に実現していくため、ステークホルダー等のニーズ把握、民間事業者へのサウンディング
- ②泉北ニュータウンの地域課題解決につながる、健康に関するICT技術の調査・把握
- ③事業スキーム、費用負担の検討
- ④構想の素案の作成

R 3年度

■スマートシティ構想の作成

【構想骨子】

- ①目的 : 住民の利便性や生活の質の向上、企業連携
- ②目標 : めざすべきまちの姿、目標年次
- ③取組内容 : R2調査研究の結果をもとに、健康を主軸としたICTを活用したプロジェクト